

赤煉瓦倶楽部舞鶴							赤煉瓦倶楽部舞鶴 会報	
							発行人/会長 吉岡博之	
							編集人/小野 章	
							〒625-0062 舞鶴市森973番地の1	
							FAX/0773-63-9764	
							E-mail brick7388@yahoo.co.jp	
会報128号 令和6年(2024年)10月21日								
「赤煉瓦倶楽部舞鶴」ホームページ							http://www.redbrick.jp/	

目次

1. 官設鉄道舞鶴線開通120周年記念シンポジウム開催のご案内	3. 舞鶴の水道を巡る(第1回)
2. 舞鶴線開通120周年企画展のご案内	編集後記

1. 官設鉄道舞鶴線開通120周年記念シンポジウム開催のご案内	吉岡博之(会長)
---------------------------------	----------

令和6年(2024)は、明治37年(1904)11月3日に舞鶴と京阪神を結ぶ“官設鉄道舞鶴線”の開通120周年にあたることから、記念シンポジウムを開催して先人の英知と努力を顕彰するとともに、舞鶴線の魅力と未来について考えます。

当倶楽部では、令和4年の9月から11月にかけて、3回にわたり官設鉄道舞鶴線(東舞鶴駅～西舞鶴駅～綾部駅～福知山駅間)に設けられた煉瓦造の橋梁、橋脚、橋台、隧道(トンネル)、溝渠等の赤煉瓦調査を実施し、改めて数多くの多様な煉瓦建造物の存在を確認しました。

また、鉄道150周年と小浜線開通100周年に合わせて、同年11月に開催した「懐かしい写真でたどる舞鶴の鉄道の歩み」展は、鉄道が舞鶴に大きな恩恵をもたらしたことを再認識する機会となったほか、翌5年10月に実施した「舞鶴線を支える赤煉瓦を巡るバスツアー」は、120年を経て今なお現役の煉瓦造橋脚をはじめ橋台やトンネルを見学してまわり、会員や市民の皆さんと感動を共有することが出来ました。

120周年記念シンポジウムの開催概要は次のとおりです。ぜひご参加ください。

- 日時 令和6年11月2日(土) 13:30～15:30
- 会場 舞鶴市 西駅交流センター(西舞鶴駅) 3階 ホール
- 主催 赤煉瓦倶楽部舞鶴
- 共催 舞鶴市公共交通ネットワーク会議、舞鶴市
- 後援 全国近代化遺産活用連絡協議会
- 協力 北近畿鉄道ビジネス株式会社

テーマ 「開業120周年を迎えた舞鶴線を未来へ引き継ごう」

【I部】 基調講演 13:30～14:30

演題 「めざせ、舞鶴！」

講師 公益財団法人 鉄道総合技術研究所アドバイザー 小野田 滋 氏

略歴：1957年兵庫県西宮市生まれ、日本国有鉄道、鉄道技術研究所、西日本旅客鉄道、海外鉄道技術協力協会、鉄道総合技術研究所等に勤務。工学博士。

【Ⅱ部】 シンポジウム 14:40~15:30

パネリスト

財 剛 啓 氏	JR 西日本京滋支社長兼福知山支店長
水 野 信 太 郎 氏	北翔大学名誉教授・赤れんが博物館顧問
嵯 峨 根 八 郎 氏	北近畿鉄道ビジネス(株)専務取締役・赤煉瓦倶楽部舞鶴理事
コーディネーター	赤煉瓦倶楽部舞鶴会長 吉岡 博之

【会場内】 舞鶴線開通120周年記念パネル展示

■お問い合わせ先 赤煉瓦倶楽部舞鶴会長 吉岡 090-1441-7553

参考写真：舞鶴線の多様な煉瓦施設





舞鶴市立赤れんが博物館では下記の日程で舞鶴線開通120周年を記念した企画展を開催しています。

日程 令和6年10月5日(土)～11月17日(日)

9時から17時まで(入館は16時半まで) 開催中は無休

入館料 一般400円 学生150円

なお、11月2日(土)は博物館入館が無料になります。この日に開催の「官設鉄道舞鶴線開通120周年記念シンポジウム」(13時半～15時半、於：西駅交流センター)にご参加の方は、シンポジウムご参加前にご見学下さい。

### 企画展の主な展示構成

- ・舞鶴に向かう鉄道 阪鶴鉄道と京都鉄道
- ・舞鶴線 現役の赤れんが トンネル・橋梁
- ・郷土の鉄道に尽くした人々 松本重太郎と澤井市造

北近畿鉄道ビジネス株式会社のご協力で、昭和40年頃の国鉄東舞鶴駅のジオラマを展示しています。

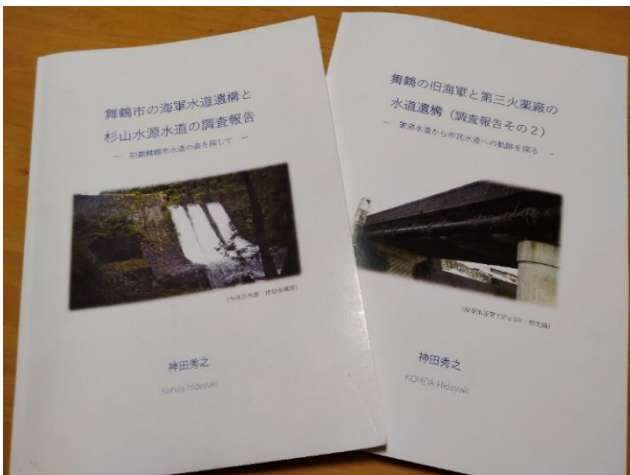
写真：開催中の企画展の様子



昨年、「舞鶴市の海軍水道遺構と杉山水源水道の調査報告」を発行しました。副題を「初期舞鶴市水道の姿を探して」とした通り、明治34年鎮守府開庁と共に始まった近代水道の当時の姿、また昭和になって太平洋戦争の中どのように発展あるいは変貌したのかを、現存する施設を訪ね歩き発掘することで、その姿を明らかにし記録するという作業でした。それは市役所で長年技術職として水道に携わる中で、たまたま古い第三火薬廠関連の水道図面を目にしたことが動機でしたが、廃止され使われなくなった施設が忘れられ記録からも抜け落ちていくことに感じていた危機感が、静機となっています。

結果、文化財指定を受けている与保呂水源地

では指定外となった各種堰堤を確認。またもはや誰も知らなかった下福井配水池を、そして第三火薬廠に水を送っていた杉山水源水道の諸施設を発見することになりました。昔の平面図などを頼りに「本当にあるのか」という構造物を探しますので、山歩きは雪が消えてから葉が茂るまでの間になります。週末になると山に入り、夜な夜なデータの整理と報告書作りに呆けるあまり、我が家の「山の神」からはチクチクと苦情も頂く日々でしたが、その協力のお陰で、今年は、続編の発行にも漕ぎつけたのでした。タイトルを「舞鶴市の海軍水道と第三火薬廠の水道遺構(調査報告その2)」とし、副題を「軍港水道から市民水道への軌跡を探る」と付けました。



発行した調査報告書2冊



調査の契機となった杉山水源水道施設

## 編集後記

今号から当分の間神田秀之氏の寄稿連載をします。寄稿文中で言及された調査報告書は立派なもので、いくら探求心(好奇心?)があるとはいえ、その努力には頭が下がります。市民は普段舞鶴市の水道を何気なく使用していますが、そこには、海軍鎮守府設置に伴う起源があるのに、それがこれまで明確に調査・実証されたわけでもなかったところ、神田氏は職務の傍ら独自の調査を実施され、解明されたわけです。そのご尽力に感謝申し上げるとともに、成果の一端を本会報の連載で紹介させていただきます。

本会の目的(要旨)：赤煉瓦を活かしたまちづくり活動、赤煉瓦ネットワーク交流と他市のまちづくり支援など。

会員の資格：会費納入者 年会費(個人1,000円、団体5,000円)。ご寄附も受け付けます。

会費・寄付等 振込先：①ゆうちょ銀行 四四八店(ヨンヨンハチ店) 普通 3679505 口座名義 アカレングクラブマイツル  
又は ②京都北都信用金庫 舞鶴中央支店 普通 口座番号0686767 口座名義 アカレングクラブマイツル